

1. 件 名：九州電力株式会社玄海原子力発電所の原子力事業者防災訓練の
事前説明について

2. 日 時：令和5年1月19日 10:00～12:05

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC方針決定室

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、反町専門職、澤村防災専門官、川本専門職、
沼田専門職、宮田専門職

実用炉監視部門

菊川管理官補佐

内閣府

政策統括官（原子力防災担当）付参事官（総合調整・訓練担当）付
太田政策調査員

原子力規制庁

玄海原子力規制事務所

渡邊防災専門官

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ長 他5名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和5年2月28日に予定されている同社玄海原子力発電所の原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[D0(実行)]に関する内容

原子力規制庁より、ERC対応ブース対応要員の育成・多重化（拡充）について、初動対応において慣れた発話者が対応できることが大切であるため、慣れた発話者を常に確保するための参集体制等についてよく検討すること、現場実動訓練について、本部と現場間の監視・連絡体

制とその現実的な状況付与についてよく検討することについて伝えた。

九州電力株式会社から、本日の面談を踏まえ、検討する旨回答があった。

また、内閣府より、同日実施するON-OFF連携訓練について、協力を依頼した。

今後、訓練実施に向けて原子力規制庁と九州電力株式会社の訓練コントロール間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料：

資料1 玄海原子力防災訓練計画事前説明に係る面談（5週間前）時の
確認事項（2023年1月九州電力株式会社）